

(様式2)

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590300115		
法人名	有限会社 三井福祉会		
事業所名	グループホーム居場所あおの(2ユニット共通)		
所在地	新潟県上越市青野2080-1		
自己評価作成日	令和6年8月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&jigyosyoCd=1590300115-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和6年10月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成19年1月開所から18年が経ちます。施設周辺は田畑や竹林があり、ため池百選にも選ばれた青野池が水を満々と蓄えています。緑も多く、のどかでゆったりとした静かな環境に包まれています。当施設の理念でもある”地域との交流”に努め、町内会長様や運営推進会議メンバー様と共に”認知症の方への理解を深める取り組み”を話し合いながら地域の方々向けの勉強会の開催を予定しています。コロナ禍で活動ができなかった時期がありましたが、準備期間を十分設け再始動します。ご利用者様への支援については、「自立した生活」を念頭に、ADL、QOLの向上を目指しています。また、季節に合わせ、お花見、紫陽花見学、紅葉見学に出かけ、季節の移り変わりを感じながら生活を送っています。誕生日にはできる限り外出し、豪華な食事を楽しんでいます。個別に外出も支援しており、行きたいところへお連れする支援も継続しています。日常生活や施設での様子は、管理者が定期的にご家族様へお手紙を添え報告しています。また、緊急性の高い事柄に関しては、ライン等で報告を行い、ご利用者様の状態等をお伝えしています。年に4回広報誌を発行し、ご家族様へ配布を行い生活の様子をお伝えしています。平成29年度から立ち上げた委員会では、メンバー構成を強化し、非常災害委員会、感染予防委員会に主軸を向け、BCP対策に備えてきました。また、接遇委員会では、ハラスメントやカスタマーハラスメント、不機嫌ハラスメントなど、ハラスメントに特化した研修に主軸を置き、職員教育に力を入れてきました。介護福祉士取得者が9割を超え、今後自身の振る舞いや責任感を更に高め、介護の質の更なる向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○【チームあおの】の取り組み

法人の理念「一期一会を大切に、その人らしい生活の継続を支援する」を根底に設立当初から接遇に時間をかけてきた。職員教育で管理者が最も力を入れているのが、「あいさつ」である。施設に来られるすべての方に対して静止して挨拶をすることを心掛けている。また、静止してひと呼吸置くことで慌てない、せかさない等、落ち着いた介護ができることも目的としている。管理者の想いと、事業所理念の共有が職員に浸透し、心穏やかに過ごしてもらえるようにと「一日一笑」を目標としている。職員は事業所の理念や取り組みをチームとして支え、利用者一人一人が「居場所あおの」でその人らしく暮らせるように、居心地の良い場所作りを目指した支援に取り組んでいる。

○関係機関の連携と職員を育てる事業所の取り組み

委員会の立ち上げから7年が経ち、各委員会のメンバーが主軸となり事業所全体を盛り上げている。非常災害委員会では、非常災害時対応マニュアル、BCP計画が整備され、地域の消防団と連携し防災訓練や災害時訓練、地区の防災訓練にも参加している。事業所周围は高齢化率が高く、事業所の力を活かした地域貢献として、認知症の方への理解を深める活動を今年度から再始動している。上越市の「介護相談派遣事業」を活用し、介護サービスの質の向上を図る取り組み、また県の事業である「新潟県認知症ケア・アドバイザー派遣事業」を活用し、職場の認知症ケアを振り返るきっかけづくりを行い職員教育にも力を入れている。介護福祉士取得者が9割を超え専門職としての責任感をさらに高め、利用者・家族が安心して生活ができ、その中で、職員も働き甲斐のある職場を目指して取り組んでいる。